

今月の
トピックス

JCOG2502 肺がん内科グループ 新規試験

JCOG肺がん内科グループの新しい試験であるJCOG2502「EGFR遺伝子変異陽性切除不能局所進行非小細胞肺癌に対する化学放射線同時併用療法後のオシメルチニブ療法とデュルバルマブ療法のランダム化比較第III相試験(ODYSSEIA)」が現在開始準備中です。本試験の立案・作成にあたり、JCOG肺がん内科グループの先生方、JCOGデータセンター/運営事務局、各審査委員会をはじめとする多くの皆様より多大なるご指導・ご支援を頂き、心より御礼申し上げます。

本試験では、EGFR遺伝子変異陽性切除不能局所進行非小細胞肺癌に対する根治的化学放射線同時併用療法(chemoradiotherapy: CRT)後に病勢進行を認めない患者さんを対象として、標準治療であるオシメルチニブ維持療法群に対して、試験治療であるデュルバルマブ地固め療法群が、全生存期間において劣らないことを検証します。

EGFR遺伝子変異陽性肺癌に対するCRT後のオシメルチニブ維持療法とプラセボを比較したLAURA試験の結果から、同対象に対するCRT後のオシメルチニブ維持療法は世界的に標準治療とみなされています。しかしながら、LAURA試験は、今までEGFR遺伝子変異の有無によらず用いられていた従来の標準治療である、免疫チェックポイント阻害薬のデュルバルマブ地固め療法との比較ではないため、オシメルチニブ維持療法がデュルバルマブ地固め療法より有効な治療であるかは明らかではありません。

ほか、CRTで根治が期待されるものの、オシメルチニブ維持療法は「病勢進行を認めるまで治療を継続」する根治を目的としない治療である一方、デュルバルマブ地固め療法は「最長1年間」の治療期間で以降は無治療経過観察となる、根治を目的とした治療であり、両者で治療の目的は異なることや、オシメルチニブ維持療法の方が治療期間が長く患者の身体的負担が大きいことなど、臨床的課題があります。



研究代表者/研究事務局
弮持 広知



研究事務局
三浦 啓太

本邦および韓国による複数のリアルワールドデータでは、EGFR遺伝子変異陽性でもデュルバルマブ地固め療法の治療効果は期待できる結果でありました。また、EGFR遺伝子変異陽性肺癌に放射線治療を併用することで、免疫チェックポイント阻害薬の効果を増強する可能性が非臨床試験で示されており、EGFR遺伝子変異陽性局所進行肺癌においてもCRT後のデュルバルマブ地固め療法は長期奏効を含む有効性が期待されます。以上より、EGFR遺伝子変異陽性肺癌のCRT後の最良の治療法を確立することを目的として、本試験を計画しました。本試験の結果、デュルバルマブ地固め療法の有用性が明らかになった場合、根治が期待でき、かつ、最長1年間で治療完了となる新たな標準治療が確立され、より多くの患者さんが恩恵を受けることができます。

本試験は160人の患者さんにご協力を頂き、進める予定です。試験の完遂・成功には、参加施設の関係者のみなさまのご協力が必要不可欠となります。JCOG2502試験へのご理解とご支援の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

JCOG2502研究代表者/研究事務局

静岡県立静岡がんセンター 弮持 広知

JCOG2502研究事務局

順天堂大学医学部附属静岡病院 三浦 啓太

切除不能局所進行非小細胞肺癌

- EGFR遺伝子変異 (exon 19 delまたはL858R) 陽性
- 根治的化学放射線同時併用療法後に無増悪

登録・ランダム割付

施設、年齢、病期、EGFR、PD-L1

A群

オシメルチニブ維持療法
病勢進行まで継続

B群

デュルバルマブ地固め療法
最長1年間

JCOG研究に関わる研究結果やイベント情報など最新情報を発信しますので、ぜひフォローしてくださいね！

X ユーザーネーム: @JCOG_official URL: https://x.com/JCOG_official/

Facebookページ URL: https://www.facebook.com/JCOG_official

JCOGウェブサイトのトップページからも関連ページへアクセスいただけます。

JCOG研究の論文公表



◇ **乳がんグループ JCOG1017S2 枝園 忠彦 先生**
<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/41619104/>
 Efficacy and prognostic predictors of primary systemic therapy for de novo Stage IV breast cancer. Exploratory analysis of JCOG1017 PRIM-BC, Breast Cancer, 2026 Jan 31. Online ahead of print.

◇ **肝胆膵グループ JCOG2408A 佐野 裕亮 先生**
<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/41668051/>
 Comparison of chemoradiotherapy and gemcitabine plus nab-paclitaxel for locally advanced pancreatic cancer: an integrated analysis of two randomized phase II trials (JCOG2408A), BMC Cancer, 2026 Feb 10. Online ahead of print.

◇ **JCOG運営事務局 JCOG2509A デザインペーパー 喜多 亮介 先生**
[https://www.ejso.com/article/S0748-7983\(26\)00114-9/fulltext](https://www.ejso.com/article/S0748-7983(26)00114-9/fulltext)
 Sustainable platform for cross-disease evaluation: integrated JCOG trials database (JCOG2509A), European Society of Surgical Oncology, 2026 Feb 19. Online ahead of print.



担当医別月間登録数

- ◇ 肺がん内科グループ(月間登録数:3)
氏家 秀樹先生 / 近畿大学病院
- ◇ 肺がん外科グループ(月間登録数:3)
鈴木 潤先生 / 山形大学医学部
津谷 康大先生 / 近畿大学病院
- ◇ 胃がんグループ(月間登録数:2)
江原 一尚先生 / 埼玉県立がんセンター
- ◇ 食道がんグループ(月間登録数:3)
小柳 和夫先生 / 東海大学医学部
- ◇ リンパ腫グループ(月間登録数:2)
蒔田 真一先生 / 国立がん研究センター中央病院
吉田 菊晃先生 / 和歌山県立医科大学
立津 央先生 / 熊本大学病院
- ◇ 大腸がんグループ(月間登録数:2)
丸山 聡先生 / 新潟県立がんセンター新潟病院
梶原 由規先生 / 防衛医科大学校
大内 晶先生 / 愛知県がんセンター
- ◇ 泌尿器科腫瘍グループ(月間登録数:2)
寺田 直樹先生 / 福井大学医学部附属病院
- ◇ 脳腫瘍グループ(月間登録数:2)
山口 秀先生 / 北海道大学病院
鈴木 健太先生 / 香川大学医学部
- ◇ 肝胆膵グループ(月間登録数:3)
青木 修一先生 / 東北大学病院

(担当医別最多登録数が1例のグループは割愛しています)

グループごと月間登録数



登録数月次レポート

<https://secure.jcog.jp/DC/DOC/member/report/index.html>

グループ	12月	1月	2月	合計
肺がん外科	67	52	58	177
大腸がん	18	32	20	70
胃がん	21	33	16	70
リンパ腫	25	18	18	61
食道がん	24	11	22	57
肝胆膵	8	19	18	45
乳がん	8	7	13	28
消化器内視鏡	16	8	3	27
放射線治療	14	4	7	25
脳腫瘍	4	3	13	20
肺がん内科	9	4	7	20
泌尿器科腫瘍	3	4	5	12
骨軟部腫瘍	4	2	4	10
皮膚腫瘍	2	0	1	3
頭頸部がん	0	0	3	0
婦人科腫瘍	0	0	0	0
合計	223	197	208	628

JCOG
Japan Clinical Oncology Group

JCOGデータセンターより

● 2026年2月の登録は208例でした

